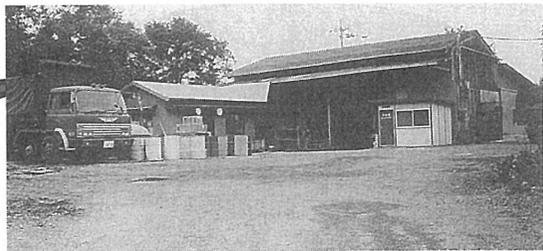


こんにちは

# 会社訪問記



会社施設

お客様とのトラブルは一切なし、  
適正処理を常に心がけております。

## 有限会社大谷商事

(愛知県豊田市)

愛知環状鉄道保見駅近く、静かで豊かな自然の残る美しい環境にある有限会社大谷商事におじゃまし、大谷社長と大谷専務のお二人にお話をさせていただきました。

—まず、この仕事をはじめられたきっかけを教えてくださいませんか。

大谷社長 (以下大谷に略)

『当社の創業は、前社長がかつて荒川板金、いまのアラコ株式会社に勤務していたことに端を発します。ある時、荒川板金の社長さんから廃棄物処理部門を分離したいのだが、独立して仕事を引き受けてもらえないかという要請を受け、はじめたのが当社なのです。昭和42年のことでした。』



大谷社長

—現在も事業内容は産業廃棄物処理一本なのですか。

大谷『いまは産業廃棄物処理の専業ではありません。もちろん、産業廃棄物処理業の収集運搬、中間処理の許可はいただいておりますが、この他にビルや配管、ピット槽、各種タンクの清掃、機械設備メンテナンス、家庭用木工製品、パレット各種の販売も行っております。昨年、当社のグループ企業として(有)大台メンテナンスを設立し、2社体制で業務を展開しております。』

—貴社の特色を一言でいうならば、どんなことでしょうか。

大谷『何十年も仕事をしてまいりましたが、お客様とのトラブルが一件もない会社であるということが当社の特色です。また、処理に関して責任を持って行うこと、大谷商事に出せば間違いなく適正に処理してもらえするという信頼感を

お客様にお持ちいただけるよう、常に努めております。』

—では、従業員の方々に日頃指導されていることがあれば教えてください。

大谷『車両を使う仕事ですので、事故防止には特に気を配っております。運搬中に積載物が落ちたりしないよう、十分安全運転を心がけるように指導しております。』

—産業廃棄物処理に対する貴社の基本姿勢とは。

大谷『私たちの仕事は、産業廃棄物の適正処理を行うことによって二次公害、三次公害を防止することだと考えております。自然も環境も美しいまま残せるように、次世代に負債を残さないように努力し続けること、これが当社の産業廃棄物処理の基本姿勢です。』

—最後に将来の事業の見通しについてどのようにお考えですか。

大谷専務『実際的な話、処分場確保が困難ないま、10年後の産業廃棄物処理業の事業展望をお話することは難しいと思います。見通しというより指針になりますが、可能な限り適正処理を続けていくことに尽きます。』



社名/有限会社大谷商事 所在地/愛知県豊田市貝津町西向畑7番地  
代表者/大谷 傳 創業/昭和42年 従業員/45名  
TEL/0565(45)0295 事業所/本社  
営業種別/収集運搬、中間処理  
取扱い品目/燃えがら、汚泥、腐油、腐プラスチック類